

1 宮津市の人口・世帯数(平成26年3月末現在)

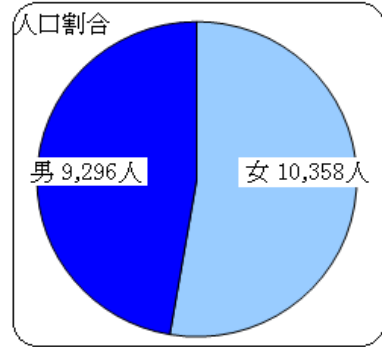
【住民基本台帳より(外国人登録含む)】

人口 19,654人(男:9,296人、女:10,358人)  
(前年同月比 -410人)

世帯 8,719世帯  
(前年同月比 -88世帯)

<資料:宮津市役所 市民室>

3月末の宮津の人口は、前年同月比-410人(-2.0%)、  
世帯数は対前年同月比 -88世帯となっている。



※ 住民基本台帳に基づいた人口・世帯数であり、推計人口とは異なります。

2 一般職業紹介状況

	新規求職者数	新規求人数	就職件数	有効求人倍率(実数)		
				宮津出張所	京都府	全国
平成25年12月	133	224	84	0.96	1.07	1.09
(前年同月比)	+11	+2	0	+0.03	+0.16	+0.21
平成26年1月	198	298	86	0.91	1.04	1.09
(前年同月比)	-32	+41	+9	+0.10	+0.14	+0.20
平成26年2月	166	233	82	0.92	1.07	1.12
(前年同月比)	-25	-108	+9	-0.02	+0.14	+0.21

<資料:ハローワーク宮津>

宮津出張所の有効求人倍率は、前年同月比で24ヶ月ぶりの減少となった。全国では47ヶ月、京都府では46ヶ月連続の増加であった。

【有効求人倍率とは】公共職業安定所で扱った月間有効求人数を月間有効求職者数で割ったもの。

この値が1より大きければ、求職者よりも求人数が多いことを意味し、就職口を求めている人にとっては相手を選ぶことができるため有利となっており、それだけ経済に活気があると考えられる。

3 宮津観光入込状況

宮津天橋立IC・与謝天橋立IC交通量

	有料区間分(台)				無料区間分(台)	
	宮津天橋立IC		与謝天橋立IC		宮津→与謝	与謝→宮津
	入口	出口	入口	出口		
平成26年1月	25,279	25,272	44,495	41,540	24,077	26,819
(前年同月比)	+356	+1,586	+6,776	+6,121	+1,121	+1,203
平成26年2月	20,847	21,343	36,413	36,390	22,752	25,457
(前年同月比)	-468	+232	+3,613	+3,628	+630	+1,150
平成26年3月	30,706	31,659	52,255	51,156	26,849	29,467
(前年同月比)	-414	+288	+4,339	+3,465	+480	+340

<資料:京都府道路公社>

年度単位では前年度比で、綾部宮津道路は約9%増、丹波綾部道路は約21%増、宮津与謝道路では約10%増でした。

宮津市内主要駐車場 利用状況 ※( )は内バス台数

	市當天橋立	智恩寺	パーキングはままち	籠神社
平成26年1月	471台(1台)	3,240台(345台)	10,715台(5台)	3,650台(476台)
(前年同月比)	+59台(+1台)	+197台(+239台)	+279台(+5台)	+1,729台(+162台)
平成26年2月	99台(0台)	2,898台(397台)	10,366台(10台)	1,958台(558台)
(前年同月比)	-10台(-2台)	+1,083台(+246台)	+169台(+3台)	+224台(+82台)
平成26年3月	678台(2台)	4,496台(359台)	8,539台(6台)	2,398台(648台)
(前年同月比)	+528台(+2台)	+650台(+215台)	-2,263台(0台)	+175台(+48台)

<資料:宮津市役所 建設室・智恩寺・籠神社>

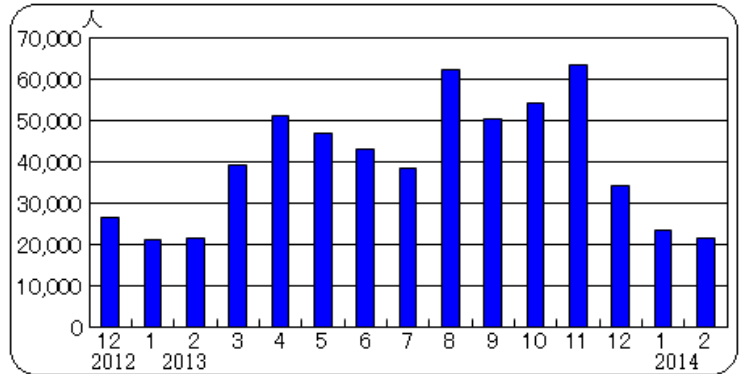
宮津市内主要駐車場の3ヶ月間の入込数については、全体で前年同月比 2,820台(6.0%)の増加、バスについては1,001台(55.4%)の大幅増となっている。

### 天橋立傘松公園 ケーブルカー・リフト利用客数

平成25年12月	33,898人
(前年同月比)	+7,573人
平成26年1月	23,155人
(前年同月比)	+2,130人
平成26年2月	21,220人
(前年同月比)	-110人

<資料:丹後海陸交通株式会社>

前年同月比で2月は0.5%減となったが、12月28.8%、1月10.1%と大幅に増加であった。

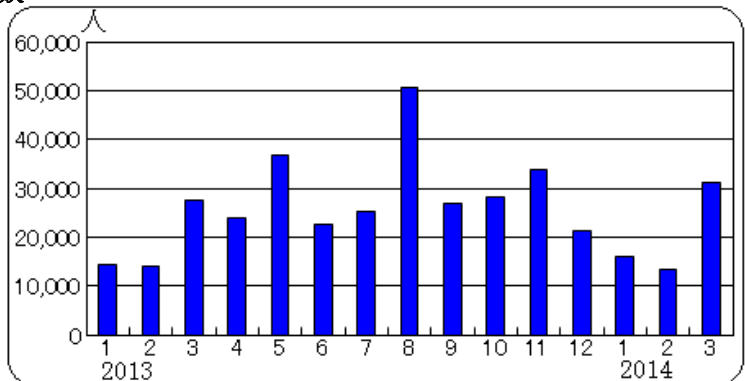


### 天橋立ビューランド モノレール・リフト利用客数

平成26年1月	16,107人
(前年同月比)	+1,622人
平成26年2月	13,350人
(前年同月比)	-804人
平成26年3月	31,054人
(前年同月比)	+3,546人

<資料:天橋立総合事業株式会社>

前年同月比で2月は5.7%減となったが、1月11.2%、3月12.9%と大幅に増加であった。



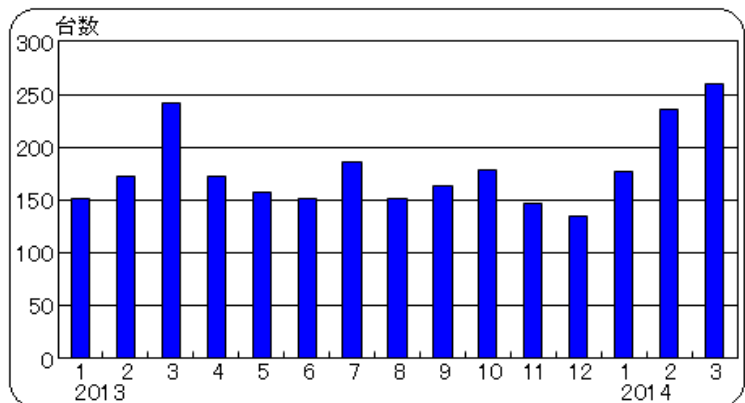
### 4 自動車車庫証明申請台数

#### 【普通車(新車・中古車)】

平成26年1月	177台 (前年同月比 +25台)
平成26年2月	235台 (前年同月比 +62台)
平成26年3月	260台 (前年同月比 +18台)

<資料:宮津警察署>

前年同月比で1月16.4%、2月35.8%、3月7.4%の増加であった。



### 5 宮津景況調査アンケート(調査期間 平成26年1月～3月)

※調査方法 建設業・小売業・卸売業・製造業・サービス業の5業種を、規模、事業内容等を考慮し、52社にアンケートをお願いした。(回答企業数 32社 61.5%)

問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全 体		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	2	11	11	6	2	減少
仕入単価	低下	0	0	8	21	3	上昇
採算	好転	1	8	11	9	3	悪化
今後の売上見込	増加	0	6	9	14	3	減少
建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加		3	1			減少
仕入単価	低下				4		上昇
採算	好転		2	2			悪化
今後の売上見込	増加		2	1	1		減少
小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加		1	4	2		減少
仕入単価	低下			2	5		上昇
採算	好転		1	3	3		悪化
今後の売上見込	増加			3	4		減少

卸 売 業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売 上 額	増 加		3	1	2	1	減 少
仕 入 単 価	低 下				6	1	上 昇
採 算	好 転		1	2	3	1	悪 化
今後の売上見込	増 加		2	1	3	1	減 少
製 造 業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売 上 額	増 加	2	1	4			減 少
仕 入 単 価	低 下			1	5	1	上 昇
採 算	好 転	1	1	3	2		悪 化
今後の売上見込	増 加			2	4	1	減 少
サ ー ビ ス 業		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売 上 額	増 加		3	1	2	1	減 少
仕 入 単 価	低 下			5	1	1	上 昇
採 算	好 転		3	1	1	2	悪 化
今後の売上見込	増 加		2	2	2	1	減 少

問2 現在直面している経営上の問題点がありましたら記入して下さい。

◇建設業

- ・使用機械等の老朽化。
- ・消費税の対応。

◇小売業

- ・経費節減。
- ・売上高の減少。
- ・パート、アルバイトの求人(GWまでに採用したい)。
- ・飲食部門の利益減少(値上げ実施していないため)。
- ・4月以降、仕入価格が落ち着くと思われるが、消費税増税で売上は4月以降、伸び悩むと思われ、売上の減少が大きく響いてくると思われる。

◇卸売業

- ・優秀な人材の確保。
- ・若い人材の確保。
- ・売り先(小売店)の減少、赤字の増加(純利益の減少の割に経費の減少が小さい)。
- ・ガソリン・軽油の高騰、消費税増税による売上の落ち込み。
- ・仕入原価の上昇で販売価格が上り、大幅な値上げにつながり大変厳しいです。特に木材の価格が大幅に上がっています。

◇製造業

- ・社員を募集しても応募が少ない。
- ・消費税増税の影響(3月に駆け込み需要があった)で4月以降の販売状況の予測が難しい。
- ・消費税問題。今回はまだしも来年の10%はきつい。運転資金で使い込んでしまう。
- ・アベノミクス効果はまだ無い。「海の京都」では少し恩恵があった。人口減少が(少子高齢化)も含めて、諸悪の根元。

◇サービス業

- ・地場産業の低迷による仕事量の減少。
- ・人材不足。
- ・人材確保。
- ・人材の確保と育成。
- ・売上増加。
- ・経費削減。
- ・客数の大幅減少。
- ・地魚の漁獲高の大幅減少に伴う大幅な価格上昇。

問3 上記の問題等について、現在及び今後実行しようとしている改善策等がありましたら記入して下さい。

○現在取組んでいる改善策

◇建設業

- ・人材育成。
- ・業者の協力。

◇小売業

- ・経費節減。(4件)
- ・得意分野の強化。
- ・新規事業の販路拡大。

◇卸売業

- ・経費節減。(3件)
- ・新規開拓。
- ・得意分野の強化。(2件)
- ・従業員のマルチタレント化(多能工化)。

◇製造業

- ・事業の見直し等、社内の再整備。
- ・この近辺では商売にならない。外へ外へ。
- ・設備の近代化と省力化。※人件費の節減。

◇サービス業

- ・地場産業を活用した事業の取組み。
- ・経費節減。
- ・メール会員の増加を目指す。
- ・土産物商品の販路開拓及び新商品開発。
- ・弊社らしい、本当のサービスの追及による顧客の創造。
- ・運賃の値上げ交渉。
- ・検討中。
- ・売上単価の増加を目指す。

○今後実行しようとしている改善策

◇建設業

- ・職場環境の改善。

◇小売業

- ・得意分野の強化(地元産品の販売)。
- ・在庫管理等。
- ・消費税増税後の反動減を抑える対策準備。

◇卸売業

- ・人材育成。
- ・後継者の育成⇒今後5年以内に目途が立たなければ廃業。
- ・新規開拓の出来る営業マン。

◇製造業

- ・商品の改廃。
- ・生産量にリンクした生産体制の構築、生産レイアウトの見直し。
- ・営業力の強化と想像力(デザイン力)のアップ。

◇サービス業

- ・バイヤーとの商談。
- ・新分野の検討、研究。

問4 国・府・市・会議所への要望。

◇建設業

- ・市へ「お買い物は地元で」の精神でお願いしたい。
- ・継続的な施策と希望の持てる地域創りへの応援。
- ・来年の消費税10%は見送りにしてほしい。

◇小売業

- ・何度も要望は書いたが、反応なく失望した。

◇卸売業

- ・零細企業の資金繰りを楽にするような法制度や融資商品を作ってください。同時に会社相続に関して、相続税の負担の減免というのは考える事はできないか？

◇製造業

- ・地元産品の売上向上について色々と検討いただきたい。
- ・要望が叶った事が無いので、自助努力で勝ち残る。
- ・消費税を無くしてほしい。
- ・別に協力してくれなくていいから、民間の邪魔はしないで欲しい。

◇サービス業

- ・補助金が出るからやるのではなく、もう少し独自の考え方が欲しい。

※ アンケートを通じてご記入頂いたご意見等は、地域経済の厳しい現状を把握し、行政等への要望などに活用させていただいております。